



国民春闘共闘

第37号

2016年7月25日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2016 夏季一時金・第3回集計

単純平均 637,162 円・1.90 ヶ月

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は7月15日、2016年の夏季一時金第3回集計を行いました。

<回答状況>

	2016年	2015年
登録組合数	734	745
回答組合数	516 (70.3%)	450 (60.4%)
うち上積み獲得	99 (19.2%)	114 (25.3%)
うち妥結組合数	362 (70.2%)	281 (62.4%)

<回答内容> (月数および金額)

集計方法&対象		2016年	2015年(同期)	(前年比)
単純平均	月数	1.90	1.93	-0.03
	額(円)	637,162	646,124	-8,962
加重平均	額(円)	647,803	669,415	-21,612
	組合員数(人)	140,828	132,783	

*額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

<前年実績と比較可能な組合における回答状況(金額での比較)>

	2016年	2015年
前年との比較が可能な組合数	235	245
うち前年額以上の組合	160 (68.1%)	158 (65.4%)
(前年超)	146	141
(同 額)	14	17

<前年実績と比較可能な組合における単純平均額・月数の比較>

		組合数	金額・月数	前年実績	(前年比)
単純平均	額(円)	235	660,745	657,574	+3,171
	月数	416	1.90	1.89	+0.01

〈集計結果の概要〉

回答引出し・妥結状況

2016年夏季一時金の第3回集計（7月15日現在）には、新たに検数労連から報告が寄せられ、別表の23単産・部会での集計となりました。

登録734組合のうち70.3%にあたる516組合が回答を引き出しています。前回調査（6月27日現在：416組合・56.7%）から100組合・13.6%上昇しています。前年同期（2015年7月10日現在：450組合・60.4%）比9.9%増と前回調査から引き続き前年同期を大きく上回っています。

単産・部会別にみると合同繊維、検数労連、郵政ユニオン、全倉運、外銀連が回答引き出し率100%で、これにJMITU（93%）、化学一般労連（91.7%）、映演労連（90.9%）が9割台、日本医労連（89%）、生協労連（88.2%）、JMITU通信産業本部（84.6%）、民放労連（80.8%）、出版労連（80.6%）が8割台で続いています。

春闘期に回答を引き出した組合も含め、回答を引き出した組合のうち、数字にわたる上積みを獲得したのは99組合・19.2%に止まっています。前回調査から18組合増えましたが、前年同期（114組合・25.3%）を6.1%下回っています。最高次数は民放労連の組合での7次回答で、これにJMITU、化学一般労連、民放労連、映演労連の4組合が5次回答、民放労連、日本医労連、地方マスコミの3組合が4次回答、JMITU（8組合）、日本医労連（5組合）、化学一般労連、映演労連（各3組合）、民放労連、地方マスコミ（各2組合）、金融労連、出版労連（各1組合）の計25組合が3次回答で続いています。

現時点で妥結もしくは妥結方向となっているのは、回答引き出し組合の70.2%にあたる362組合となっています。支給日を前後して解決が進み、前回調査（205組合・49.3%）から157組合・20.9%増えています。前年同期（281組合・62.4%）を81組合・7.8%上回っており、前年より早いペースで解決が進んでいます。回答引き出し率100%の合同繊維、検数労連、郵政ユニオン、全倉運、外銀連では全登録組合で解決が図られています。

全体の回答内容

金額回答のあった267組合での単純平均額（一組合あたりの平均）は637,162円で、前回調査657,374円から20,212円減となり、前年同期646,124円を8,962円下回っています。

加重平均額（組合員一人あたりの平均）は647,803円となっています。前回調査と比べ7,429円減となり、前年同期を21,612円下回っています。

月数回答のあった457組合の単純平均月数（一組合あたりの平均）は1.90ヵ月で、前回調査から0.06ヵ月減少し、前年同期を0.03ヵ月下回りました。

出版労連の組合が平均250万円余の回答を引き出したのをはじめ、100万円以上の高額回答を引き出したのは25組合（前年同期26組合）で、そのうち6組合（前年同期9組合）が150万円以上の回答を引き出しています。

月数では出版労連の2組合が5ヵ月分の回答を引き出したのをはじめ、33組合（前年同期30組合）が3ヵ月以上の回答を引き出しています。

単産・部会別にみると、化学一般労連、建交労・鉄道、JMITU通信産業本部、民放労連、出版労連、映演労連、地方マスコミで単純・加重平均額ともに全体平均以上となっています。

月数では、外銀連での平均 3.4 ヶ月をはじめ、民放労連 (2.94 ヶ月)、映演労連 (2.61 ヶ月)、建交労・鉄道 (2.58 ヶ月)、JMITU 通信産業本部 (2.54 ヶ月)、出版労連 (2.42 ヶ月)、地方マスコミ (2.40 ヶ月)、全倉運 (2.32 ヶ月)、化学一般労連 (2.17 ヶ月)、JMITU (2.15 ヶ月)、特殊法人労連 (2.04 ヶ月) の 11 単産・部会が平均 2 ヶ月以上となっています。

単純平均月数で前年同期と比較可能な 19 単産・部会のうち、建設関連労連、化学一般労連、検数労連、JMITU 通信産業本部、日本医労連、特殊法人労連の 6 単産・部会が前年同期を上回っています。前年同月数は郵政ユニオン、生協労連、出版労連、地方マスコミの 5 単産・部会で、その他 8 単産・部会が前年同期比マイナスとなっています。

規模別にみると、「1000 人以上」が加重平均 726,982 円と全体の加重平均を引き上げています。月数平均をみると、前回調査同様に「29 人以下」、「30～99 人」の中小規模組合が 2 ヶ月以上の水準を維持しています。

前年実績比較可能組合での回答状況

同一組合での対比が可能な 235 組合での単純平均額の結果を前年実績と比較すると、今期は 660,745 円で、前年実績 657,574 円を 3,171 円上回っています。月数では 416 組合での単純平均で 1.90 ヶ月と前年実績 (1.89 ヶ月) を 0.01 ヶ月上回り、前年実績と比較可能な組合では単純平均額・月数ともに前年実績から微増しています。

全印総連の組合が前年実績を 21 万円余上回る成果を勝ち取ったのをはじめ、金額で前年実績比較可能な 235 組合のうち 160 組合・68.1%が前年実績額以上の回答を引き出しています。月数では前年実績比較可能な 416 組合のうち 80.8%にあたる 336 組合が前年実績を確保しています。

単産・部会別にみると、多くの単産・部会が前年実績と同水準もしくは微増傾向となっています。規模別にみると、「29 人以下」・2.09 ヶ月、「30～99 人」・1.98 ヶ月、「100～299 人」・1.85 ヶ月、「300～999 人」・1.69 ヶ月、「1000 人以上」・1.72 ヶ月となっており、中小規模組合が奮闘しています。

非正規雇用で働く仲間の賃上げ状況

パートやアルバイト、再雇用など非正規雇用で働く仲間の夏季一時金獲得は、あらたに化学一般労連、金融労連から報告が寄せられ、別表の 10 単産 206 組合で 317 件の成果獲得となりました。前回調査 (6 月 27 日現在 : 8 単産 134 組合 235 件) から 72 組合 82 件増え、前年同期 (2015 年 7 月 10 日 : 8 単産 152 組合 238 件) を 54 組合 79 件上回っています。

このうち、パートやアルバイト (再雇用・継続雇用で働く仲間を除く) などを中心とした時給制で働く仲間の一時金獲得は、日本医労連 (93 件)、生協労連 (79 件) など 9 単産で 190 件の成果を獲得しています。月数回答報告のあった 136 件での単純平均は 0.75 ヶ月で、金額は 47 件平均 59,087 円となっています。いずれも、前年同期 (116 件平均 0.74 ヶ月・33 件平均 58,081 円) とほぼ同水準となっています。

日給制では出版労連の組合が前年を 0.1 ヶ月分上回る 1.7 ヶ月分の回答を引き出しています。

月給制 (臨時・準職員・契約社員など) で働く仲間の一時金獲得は、生協労連 (72 件) をはじめ、全農協労連 (15 件)、出版労連 (4 件)、JMITU、映演労連 (各 2 件)、建交労、化学一般労連、金融労連 (各 1 件) から計 98 件の報告が寄せられています。月数報告のあった 80 件での単純平均

は 1.013 カ月で、前年同期（59 件平均 0.912 カ月）を 0.101 カ月上回っています。金額では 23 件平均 138,118 円と前年同期（23 件平均 168,208 円）を 30,090 円下回っています。

前年実績比較可能組合での回答状況をみると、月数で比較可能な 53 件の平均は 1.015 カ月で、前年実績(0.978 カ月)と比べ 0.037 カ月増となり、金額は 16 件平均 155,374 円で前年実績を 17,749 円上回っています。

また、再雇用・継続雇用で働く仲間の一時金は、時給制で 10 件、月給制で 18 件の計 28 件の成果獲得となっています。

時給制では生協労連で 3 組合が 1 カ月の回答を引き出すなど、単純平均で 0.538 カ月（8 件平均）・58,347 円（4 件平均）となっています。

月給制では、JMITU の組合で正規と同月数となる 3 カ月の回答を勝ち取るなど、単純平均で 1.375 カ月（12 件平均）・92,333 円（6 件平均）となっています。

STOP暴走政治、戦争法廃止！ 壊すな憲法 暮らしを守る共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化

<参考> 他団体の夏季一時金集計結果

●連合の夏季一時金（7/1 集計）は以下のとおりです。

金額（円）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万）	2016 年	前年実績	2016 年	前年実績
1,885	123.6	752,489	732,854	519,478	516,898

月数（カ月）

集計組合		加重平均		単純平均	
組合数	人数（万）	2016 年	昨年実績	2016 年	前年実績
2,587	183.6	2.44	2.37	2.11	2.03

*前年実績は前年同時期実績

●日本経団連の夏季一時金妥結集計（大手企業＝6/7 現在）は以下のとおりです。

集計対象	集計企業	加重平均額		単純平均額	
		2016 年	前年実績	金額	昨年実績
大手企業	95 社	927,415	893,941	760,730	739,927